



2025年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年4月11日

上場会社名 ヤマト インターナショナル株式会社

上場取引所 東

コード番号 8127 URL <https://www.yamatointr.co.jp/>

代表者 （役職名）取締役社長 （氏名）盤若 智基

問合せ先責任者 （役職名）執行役員IR経営企画室長 （氏名）保田 大輔 TEL 03-5493-5629

半期報告書提出予定日 2025年4月11日 配当支払開始予定日 2025年4月25日

決算補足説明資料作成の有無： 無

決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年8月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年9月1日～2025年2月28日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期中間期	10,539	△5.7	38	△79.9	103	△58.1	75	△60.3
2024年8月期中間期	11,175	3.8	193	△11.7	246	△41.3	189	△45.2

（注）包括利益 2025年8月期中間期 86百万円（△86.2%） 2024年8月期中間期 630百万円（58.8%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期中間期	3.65	—
2024年8月期中間期	9.21	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年8月期中間期	24,289	17,229	70.9	838.64
2024年8月期	24,007	17,348	72.3	844.41

（参考）自己資本 2025年8月期中間期 17,229百万円 2024年8月期 17,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	6.00	—	10.00	16.00
2025年8月期	—	6.00			
2025年8月期（予想）			—	10.00	16.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2025年8月期の連結業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,300	△4.0	150	△42.9	250	△35.2	200	△43.3	9.73

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年8月期中間期	21,302,936株	2024年8月期	21,302,936株
2025年8月期中間期	758,440株	2024年8月期	757,953株
2025年8月期中間期	20,544,778株	2024年8月期中間期	20,545,800株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士または監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項については、添付資料P.3「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、資源価格の高騰や円安の影響による物価高、金利・賃金の上昇等にみられるとおり、インフレ社会が到来し時代の転換期を迎えております。更には、欧州・中東における地政学リスクの高まりや米国を中心とする経済政策の動向等、先行き不透明な状況が続いております。

当アパレル・ファッション業界におきましては、所得環境の改善やインバウンド需要の拡大による個人消費の回復傾向が一部にみられるものの、長引く猛暑など予想をはるかに上回る気候変動や、継続的な物価上昇によるお客様の生活防衛意識の更なる高まり等による事業環境への影響が懸念されます。

このような経営環境の中、当社グループは「ものを創り 人を創り お客様と共に心豊かな毎日を創る」という不変のミッションのもと、人々のライフスタイルや価値観が様変わりする中で、いつの時代でも どのような環境下でも、お客様の不満や問題を解決し 求められるものを提供し 最初に想起される真のブランド「シン・ブランド創り」を目指しております。

これらを背景に始動した中期ビジョン「Yamato 2026」では10年後を視野に、既顧客の活性化を大前提としながらも、次の世代の潜在顧客獲得に より比重を置いた戦略を実践してまいります。そして、10年後のあるべき姿として、次の世代のお客様が当社のブランドを認知認識し、私たち創り手の意図を理解し、詳細な特徴を語り他者へ共有できる、更にはお客様同士も共鳴できる状態。お客様も社員も誇れる真のブランドになっている姿を目指してまいります。

基幹事業である「クロコダイル」は、「“大人のTP0”をスマートに演出するブランド」をコンセプトに、改めて原点である顧客起点に立ち返り、既顧客の満足度向上と活性化に繋がる商品の強みや付加価値を戦略的に構築してまいります。

潜在顧客の獲得に向けましては、クロコダイルグループにおける先進的な役割を担う2つのストラテジックラインに注力してまいります。デザイン性トレンド性を最も重視したラインである「クロコダイル コード」は、スタイル/コーディネート提案を強化しております。もう一方の「スイッチモーション クロコダイル」は、先進的なスポーツ業界が取り組んでいる工夫や進化といった要素を取り入れ、「もの創り」を最も重視したラインとなり、引き続き戦略的に提供価値の構築を目指してまいります。

「創造的な移動を続ける都市生活者のための機能服」をコンセプトに、オンラインショップをベースに展開する「CITERA（シテラ）」は、常に快適で洗練された時代に響くスタイルを創り出し、ブランドの顔となる商品開発等に引き続き注力することで更なる売上拡大を目指してまいります。また、米国発アウトドアファッションブランド「Penfield（ペンフィールド）」と、ハワイ発カジュアルサーフブランド「Lightning Bolt（ライトニングボルト）」は、ブランド認知度と価値向上に注力し、ライセンス事業の更なる拡大を目指してまいります。

一方、当社グループの物流業務を請け負う子会社ヤマト ファッションサービス株式会社では、EC事業の著しい成長に伴い小口配送の件数が年々増加しております。近年導入を進めてきた自動ソーター、自動製封函機、及びカメラ認証システムも活用し、物流業務の変化にも対応しております。今後も、積極的な投資による業務の自動化、省人化を推進することで、更なる生産性向上を図ってまいります。

以上の結果、当中間連結会計期間における経営成績は、売上高が105億3千9百万円（前年同期比5.7%減）と減収になりました。利益面では、売上総利益率は55.6%（前年同期比0.3ポイント減）となり、販売費及び一般管理費については58億2千3百万円（前年同期比3.9%減）、営業利益は3千8百万円（前年同期比79.9%減）、経常利益は1億3百万円（前年同期比58.1%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は7千5百万円（前年同期比60.3%減）となりました。

セグメントごとの売上高では、繊維製品製造販売業103億9千6百万円（前年同期比5.8%減）、不動産賃貸事業1億4千2百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は112億6千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億8千2百万円増加いたしました。主な要因は、商品及び製品が5億1百万円増加し、現金及び預金と有価証券を合わせた手元流動性資金が74億5千5百万円から72億5千2百万円と2億2百万円減少したこと等によるものであります。

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は130億2千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円増加いたしました。主な要因は、有形固定資産が8千8百万円増加し、投資有価証券が8千4百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は242億8千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億8千2百万円増加いたしました。

（負債）

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は57億3千万円となり、前連結会計年度末に比べ3億6千1百万円増加いたしました。主な要因は、電子記録債務が6億4千8百万円増加し、支払手形及び買掛金が4千8百万円減少したこと等によるものであります。

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は13億2千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ3千9百万円増加いたしました。主な要因は、長期借入金が4千2百万円、繰延税金負債が5百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は70億6千万円となり、前連結会計年度末に比べ4億1百万円増加いたしました。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産の残高は172億2千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億1千8百万円減少いたしました。主な要因は、利益剰余金が1億3千万円減少し、その他有価証券評価差額金が9百万円増加したこと等によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は70.9%（前連結会計年度末は72.3%）となりました。

（3）連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年10月11日の「2024年8月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2025年3月14日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また、当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題と位置づけ、事業の成長、資本効率の改善等による中長期的な株式価値の向上を目指すとともに、業績、財務状況及び将来の事業展開のための内部留保等を総合的に勘案し配当額を決定しております。

上記方針に基づき、当期の配当金につきましては、2024年10月11日に公表した「2024年8月期 決算短信」のとおり、1株当たりの予定額を中間配当6円、期末配当10円、年間配当16円といたします。

今後も株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題と位置づけ、事業の成長と財務の健全性を確保しつつ中長期的な株式価値の向上を目指してまいります。

なお、東京証券取引所からの「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」の要請につきましては引き続き現状分析や検討を行い、当社グループの対応と開示について検討を進めてまいります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,155,520	5,353,536
受取手形、売掛金及び契約資産	1,244,374	1,229,459
有価証券	2,300,000	1,899,380
商品及び製品	2,070,700	2,572,369
仕掛品	85,664	146,500
その他	125,410	62,899
流動資産合計	10,981,670	11,264,145
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,379,936	1,480,546
機械装置及び運搬具(純額)	98,200	89,493
土地	5,179,068	5,179,068
リース資産(純額)	28,263	20,908
その他(純額)	77,648	81,684
有形固定資産合計	6,763,117	6,851,700
無形固定資産	10,330	7,048
投資その他の資産		
投資有価証券	5,861,536	5,777,461
差入保証金	121,673	121,646
退職給付に係る資産	195,182	200,696
繰延税金資産	2,262	1,389
その他	99,011	93,442
貸倒引当金	△27,671	△27,671
投資その他の資産合計	6,251,994	6,166,966
固定資産合計	13,025,442	13,025,715
資産合計	24,007,113	24,289,861

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (2025年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	609,870	561,685
電子記録債務	3,514,315	4,162,922
1年内返済予定の長期借入金	220,043	205,577
未払法人税等	63,216	54,282
賞与引当金	74,502	71,895
その他	886,691	674,141
流動負債合計	5,368,639	5,730,504
固定負債		
長期借入金	558,250	601,030
資産除去債務	78,728	76,266
繰延税金負債	432,066	437,864
その他	221,104	214,786
固定負債合計	1,290,150	1,329,947
負債合計	6,658,789	7,060,452
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,917,652	4,917,652
資本剰余金	4,988,692	4,988,692
利益剰余金	6,521,562	6,391,200
自己株式	△364,510	△364,675
株主資本合計	16,063,397	15,932,870
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,303,764	1,313,038
繰延ヘッジ損益	△5,335	△3,351
退職給付に係る調整累計額	△13,502	△13,147
その他の包括利益累計額合計	1,284,926	1,296,538
純資産合計	17,348,323	17,229,409
負債純資産合計	24,007,113	24,289,861

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
売上高	11,175,907	10,539,208
売上原価	4,925,293	4,676,960
売上総利益	6,250,614	5,862,247
販売費及び一般管理費	6,056,976	5,823,357
営業利益	193,638	38,890
営業外収益		
受取利息	11,659	17,473
受取配当金	33,637	41,917
為替差益	936	888
その他	10,623	8,380
営業外収益合計	56,855	68,660
営業外費用		
支払利息	4,170	3,600
その他	276	836
営業外費用合計	4,446	4,436
経常利益	246,047	103,113
特別損失		
固定資産除却損	2,010	215
災害による損失	8,841	—
特別損失合計	10,852	215
税金等調整前中間純利益	235,195	102,897
法人税、住民税及び事業税	46,233	26,258
法人税等調整額	△165	1,550
法人税等合計	46,068	27,809
中間純利益	189,127	75,087
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	189,127	75,087

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
中間純利益	189,127	75,087
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	438,936	9,273
繰延ヘッジ損益	△813	1,983
退職給付に係る調整額	3,238	354
その他の包括利益合計	441,361	11,612
中間包括利益	630,488	86,700
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	630,488	86,700
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	235,195	102,897
減価償却費	79,600	85,711
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△2,219	△5,514
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△828	△2,607
受取利息及び受取配当金	△45,296	△59,391
支払利息	4,170	3,600
為替差損益 (△は益)	△176	△1,152
固定資産除却損	2,010	215
売上債権の増減額 (△は増加)	△158,486	14,915
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△454,344	△562,504
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,682,128	600,422
その他の資産の増減額 (△は増加)	67,800	27,826
その他の負債の増減額 (△は減少)	△44,140	△157,617
その他	4,765	645
小計	1,370,179	47,446
利息及び配当金の受取額	41,342	54,734
利息の支払額	△4,151	△3,980
法人税等の支払額	△44,564	△34,922
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,362,806	63,278
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却及び償還による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△47,541	△216,499
有形固定資産の除却による支出	△1,771	△8,203
投資有価証券の取得による支出	△117,503	△2,679
投資有価証券の売却及び償還による収入	54	37,106
差入保証金の差入による支出	△4,578	△76
差入保証金の回収による収入	47	8,992
投資活動によるキャッシュ・フロー	△71,293	△181,360
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△73,686	△171,686
自己株式の取得による支出	△164	△165
配当金の支払額	△246,552	△205,449
その他	△8,731	△7,752
財務活動によるキャッシュ・フロー	△329,135	△185,053
現金及び現金同等物に係る換算差額	176	1,152
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	962,554	△301,983
現金及び現金同等物の期首残高	7,017,633	7,455,520
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,980,188	7,153,536

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間(自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	繊維製品製造販売業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,036,506	139,401	11,175,907	—	11,175,907
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,036,506	139,401	11,175,907	—	11,175,907
セグメント利益	451,542	79,648	531,191	△337,553	193,638

(注) 1. セグメント利益の調整額△337,553千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	繊維製品製造販売業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,396,325	142,882	10,539,208	—	10,539,208
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,396,325	142,882	10,539,208	—	10,539,208
セグメント利益	302,149	69,125	371,275	△332,385	38,890

(注) 1. セグメント利益の調整額△332,385千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。